

いわ桜小

学校だより 地域版2
令和元年7月

学校の教育目標

自分で考え 行動する子

ふるさとを愛する気持ち

山県市少年の主張大会（6月8日実施）で5年生児童が学校代表として発表しました。タイトルは「小さな命を美しい川へ」です。

4年生の総合的な学習の時間に行ったアマゴの飼育体験を通して感じたことや学んだことをまとめたものです。小さなアマゴの卵。その卵がすべて稚魚になるわけではありません。大切に世話をしているにもかかわらずなくなってしまう命。卵から顔を出したアマゴとの対面。そして川への放流。

卵から世話をしてきたからこそ、命の大切さを実感することができます。放流するときに強く生きてほしいと心から思うことができます。単なる放流体験とは違い、大きな意味があります。

当日の発表は、中学生や他の小学校代表の6年生と比べても遜色のない素晴らしいものでした。体験に裏打ちされた力強さを感じました。

イワザクラの栽培、アマゴの飼育、葛原太鼓、武儀川・神崎川の環境調査・美山民話の読み聞かせなど、豊かな自然と文化を題材にしたふるさと学習に力を入れ、ふるさとを愛する気持ちを育てます。

